

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	豊明市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (<input checked="" type="checkbox"/> 点を記入してください) _____ 本郷 _____ 子ども会
事業名	おんか虫送り		
活動名	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに <input checked="" type="checkbox"/> 点を記入してください)		
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	《おんかの神事～虫送り～》 虫送りの由来…平安時代末、武蔵国の武将の齊藤実盛が騎乗の馬が、稲の切株に足をとられて加賀国にてあえなく討ち死。この時この恨み末代まで崇って見せようと雲霞の虫に化身したことに付会し、これを慰めるために起こった行事。 享和年間(1801～3)から本郷町内にある沓掛諏訪社で始まり、子どもたちが朝早くから太鼓をたたき、各家を回り小銭を集め駄賃として、麦わら青竹にて松明2本、実盛と馬、孔雀、のぼり旗4本を作り、本郷内を巡って神社で焼納する。 【唱え言葉】 『おんかの神 おおくりやう さねもり さけ おおくりやう』		
日時	令和6年 7月 21日(日) 時間 AM8時00分 ~ PM4時00分	場所	豊明市 本郷町内
予算	1,500 円	参加人数	子ども 30名 大人 3名 スタッフ役員 3名
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	子ども会役員が子どもたちに伝えるのではなく、保存会の方に、行事の由来や昔は本郷はどんな地域で、代々のこの地域の子もたちがおんか送りに参加していたことを、子どもたちに伝えていただくことで、昔からの行事が代々引き継がれることを大切にする気持ちが育った。 行事参加にあたっては、保存会の方との交流も密にして当日までの間に繰り返し話し合いをしたことで、子ども会役員もこの行事についてより深く知り関わられた。 当日は暑さも心配だった為、浄財集めや町内を回る際等、常に熱中症指数計にて測定しながら行い、臨機応変に巡回するコースを短縮する等対応した。また、参加者には清涼飲料水や塩分タブレット等も配布し、熱中症予防に努めた。		
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	朝集まってすぐは新一年生や参加したことのない子がどんなことをするのか分からず不安そうにしていたが、保存会の方から話を聞いたら興味津々な様子で聞き入っていた。 行事が始まると、太鼓をたたいたり藁で作った人形を持つ等を、子どもたちで話し合い順番を決めて参加している姿があった。 最後に一人一人に浄財(駄賃)を手渡すと、汗をたくさんかいて輝く笑顔で『ありがとうございます！』と言ってくれる子どもが多数いた。 この行事を通して、昔から代々続く行事を大切にする気持ちが自然と育ったと感じた。		
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (✓点の記載必須) ※	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (✓点の記載必須) ※
			